

# 『社会言語科学』特集論文の募集のお知らせ

学会誌編集委員会では、「特集・電子社会の言語科学」の論文を募集しています。特集に投稿された論文は、通常の投稿論文と同じく、査読を経て掲載が決定されます。原稿の種類、原稿の書き方、投稿のしかた、投稿先などは、通常の論文の場合と同じです。投稿に際し、「特集」のための論文であることを明記してください。

論文投稿の締切 : 2001年1月31日  
掲載号の発行 : 2001年9月(第4巻第1号に掲載予定)  
お問い合わせ先 : 岡 隆 E-mail: oka@l.u-tokyo.ac.jp  
Fax: 03-3815-6673  
〒113-0033 文京区本郷 7-3-1  
東京大学文学部社会心理学研究室

---

## 特集・電子社会の言語科学

情報技術の普及が言語とコミュニケーションの研究に大きな変化をもたらしつつある。まず、インターネットやDVD、あるいは来たるべきデジタル放送等を介した情報コンテンツの配信によって、コミュニケーションに関わる大量の電子データの入手が容易になり、これが言語研究の大幅な進展を促すものと期待される。また、1997年以来毎年4%を上回るアメリカの経済成長の大部分が情報技術によるコミュニケーションの効率化がもたらしたものとされているが、そのような社会変化がコミュニケーションのどのような変化を伴っているかということが、言語研究の重要な研究課題となっている。大量の研究用データと新たなコミュニケーションというこれら2つの側面は、背景を共有し、互いに分かち難く結び付いている。

本特集の目的は、このような観点から、大量の電子的データを用いた言語研究、電子的コミュニケーションの構造分析、さらにそれらの組合せから得られる社会的応用など、電子社会における言語科学についてのさまざまな研究を推進することである。たとえば下記のようなテーマに関する研究論文、展望論文、ショートノートの投稿を募集する。

- ・コーパスに基づく言語研究
- ・電子的コミュニケーションにおける言語行動
- ・社会言語科学の実践としての情報介護
- ・電子社会での言語教育
- ・情報公開と言語研究との関わり
- ・コンピュータリテラシの社会言語科学
- ・電子政府への社会言語科学的提言
- ・電子社会での言語管理と言語政策

これらの話題の中にはまだ研究が本格的に進んでいないものも多いので、完結した研究の成果だけではなく、研究提案や問題提起についても奮って投稿していただきたい。特にショートノートの査読にあたっては研究成果やその評価ではなく、着眼点の面白さ等を重視したい。